

八王子

サークル

かわらばん 80

「今年度も終わりだな」

この時期になると年度の終りを意識します。「ああすればよかった」と反省することが沢山ありますが、“あの教材はうまくいった”とか“あんなことになるとは思ってもみなかった。びっくりした”などという嬉しい場面も多くあるに違いありません。子どもたちの発想や、行動性にはいつも驚かされます。それが次年度へのエネルギーにもなるのです。

2人でしたが、“ああでもない、こうでもない”と楽しい時間を過ごしました。

[おもちゃ箱]

「一筆 21 角形」(市橋)

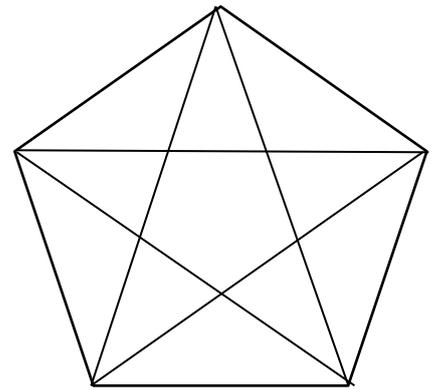
一筆書きは楽しい教材です。一筆書きができる図形とできない図形を判定する方法も明確です。1点に集まる直線の数が問題になります。問題としている図形の1つの点に集まる直線の数が偶数のとき、その点を“偶点”、奇数のとき、その点を“奇点”と呼ぶことにします。

- ① 問題の図形の点がすべて偶点のとき
- ② 奇点が2つだけの図形のとき

は、一筆書きができます。それ以外の図形はできません。

右の5角形の図では、10個のすべての点(直線が集まっているところ)が偶点だから、一筆書きができます。

別紙は、それを一筆書きにする1つの方法です。同じ方法で21角形を一筆書きすることができます。7角形、9角形、11角形など、(奇数)角形はすべてできます。(偶数)角形は一筆書きができません。



[実践報告]

1. 6年生「続いた整数の和で表そう」(高橋さん)

「学年最後の授業をどうするか?」間近になった3月の“授業納め”に向かって「学年のまとめ」を進める中で取り組んだ教材です。「最後に多くの児童が活躍できる場面を授業にした」とのことです。

- ・算数の楽しさをつたえたい。(計算力ではなく考える楽しさ)
- ・考えを共有する楽しさを味わわせたい。

というねらいは十分に達せられたように思います。

別の問題ですが、連続した10個の数(どんな数から始めてもよい)の和を即座に答えることができる方法も話題になりました。(参加者2名)

今度は 3月22日(金) 18:30~20:30

八王子クリエイトホール(10階)第4学習室

(内容)おもちゃ箱(教具作り)と実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においでください。

※会場費 100円

※問い合わせ先:市橋公生 〒193-0803 八王子市檜原町 980-145

次回は、4月26日(金) 18:30~20:30 八王子クリエイトホール(10階) 第3学習室